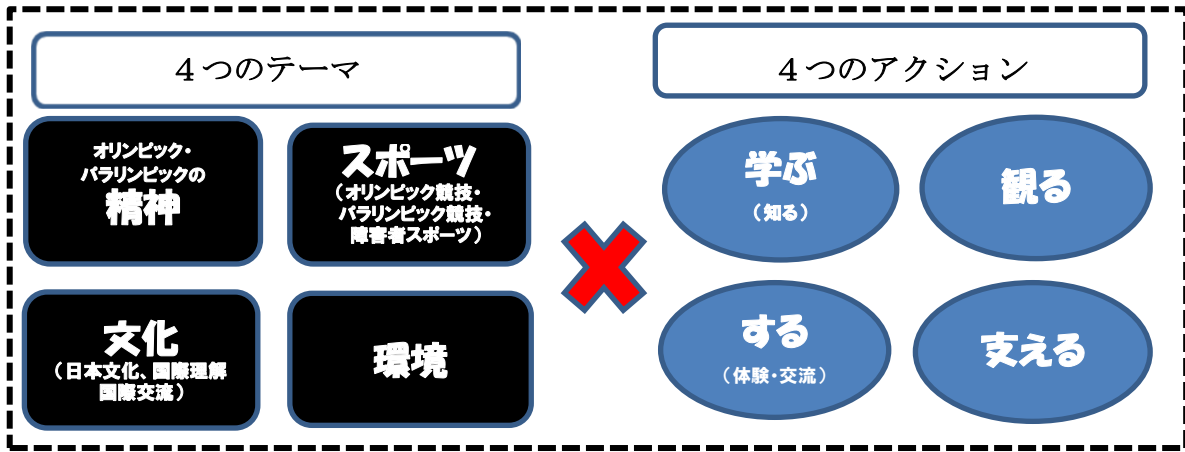


上野オリ・パラ通信 vol.2

そもそも「オリ・パラ教育」とは…

各学校において、各教科等の学習内容・活動とオリンピック・パラリンピック競技大会を関連付け、以下の「4つのテーマ」と「4つのアクション」を組み合わせた、多様な取組を展開しています。

オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地において、子供たちがスポーツにより心身の調和的発達を遂げ、進んで平和な社会の実現に貢献できるよう計画し、実施していくものです。



【重点的に育成したい5つの資質】

オリ・パラ教育を進めるにあたり、以下の5つの資質の育成に重点を置いています。

- ① ボランティアマインド**
社会貢献や他者を思いやる心、「おもてなし」の精神を育むとともに、子供たちの自尊心を高める。
- ② 障害者理解**
障害の有無にかかわらず、ともに力を合わせて生活できる共生社会を実現するため、体験や交流を通じ、多様性を尊重し、障害者を理解する「心のバリアフリー」を子供たちに浸透させる。
- ③ スポーツ志向**
多様なスポーツへの興味・関心を高め、体験することを通じ、フェアプレーやチームワークの精神を育み、心身ともに健全な人に育てる。
- ④ 日本人としての自覚と誇り**
日本の伝統や最新の文化などを学び、世界に発信する力を育てるとともに、日本人としての規範意識や公共の精神等を学ぶことを通じ、日本人としての自覚と誇りを身に付ける。
- ⑤ 豊かな国際感覚**
世界の多様な国々の歴史や文化を学ぶとともに、留学生や外国人、海外の学校等との交流を促進し、豊かな国際感覚を養う。

【テーマ「環境」×アクション「学ぶ」：育成したい資質「ボランティアマインド」「豊かな国際感覚」】

●SDGs (エスディージーズ) について学ぶ (5年生)

「SDGs」とは…Sustainable(サステナブル) Development (デヴェロップメント) Goals (ゴールズ) の略。

日本語訳は「持続可能な開発目標」です。これは、2015年に国連で開かれたサミットの中で決められた、国際社会共通の目標です。最近では、よく見聞きするようになりましたが、日本での認知度は、いまだ30%に満たないのが現状です。

持続可能な社会を目指すために掲げられたのが、右にある17の目標で、これらを2030年までに【だれ一人残さず】先進国と途上国が丸丸となって達成しようとして世界中で取り組まれています。

ただ今、5年生が総合的な学習の時間で、この「SDGs」や17の目標について調べ学習を行っています。その中で、子供たちが知ったことは…

- 世界の6億人以上の人が1日200円未満で生活しています。
- 飢餓をなくすために必要な食糧約320万トンのおよそ2倍にあたる646万トンもの量の食料を日本では捨ててしまっています。
- 世界では20億人の人が水に困っており、年間150万人の子供が水が足りないことや清潔な水が飲めないことで命を落としています。
- 地球上に残っている石油の残量は、あと37年分しかありません。化石燃料にいつまでも頼ってられません。
- このままでは2050年には、海で暮らす生物の重量と同じ程のプラスチックごみが海に浮くこととなります。

自分たちには何が出来るのだろうか？

2030年まで、まだまだ10年？いや、たった10年？どう感じますか？5年生が調べた内容は、校内に掲示する予定です。ぜひ御覧ください。



【テーマ「文化」×アクション「する」：育成したい資質「豊かな国際感覚」】

●アメリカ大使館との交流 (6年生)

2月18日に、アメリカ大使館の方と6年生が交流を行いました。

6年生は、この日を迎えるにあたり、上野公園へ行き、外国の方々に日本に関するインタビューを行いました。そこで、外国の方々が日本の文化に興味のあるものは何か、好きなものは何か等を知りました。自分たちの予想外の回答があつて驚いたり、英語を使つてのインタビューにドキドキしながらも、話が通じたことにうれしさを感じたりする姿が見られました。



上野公園でのインタビュー風景

そして、インタビューをしてきた内容をもとに、プレゼンテーションを作成し、原稿を英語に直し、グループごとに大使館の方へ日本文化についての発表を行いました。

交流会当日は、練習の成果を発揮し、自信をもって堂々と日本の文化を伝える姿が頼もしかったです。あるグループでは、習字で「桜」を書いてもらう時間を設けており、大使館の方のとても上手な筆運びに感嘆の声が上がりました。短い時間でしたが、充実した交流となりました。以下、6年生の感想です。

- 私は、プレゼンテーションで自分の英語をはっきりと言い、ジェスチャーを使って伝えることができました。習字も心よく応じてもらいました。アメリカの文化を身近に感じる事ができました。
- ぼくは、英語を使って発表したり、インタビューしたりすることで、外国の方と話すのに抵抗を感じなくなりました。これからも、2020東京大会に向けて、外国の方と積極的に交流していきたいです。



【行ってきましたのコーナー】

現在、全国に71店舗ある東京オリンピックオフィシャルショップでは、聖火リレーのトーチが期間ごとに展示されています。

上野小学校の近くでは、東京スカイツリー店に1月下旬に展示されていました。なんとそこへ栗山先生が行った際に、トーチを手にとってきたということなので、いくつかインタビューをしたいと思えます。

Q: どうしてトーチを？

買い物をしてた時に近くを通るとトーチがキラキラに輝いていたので、思わずそこへ引き寄せられ、手にとってしまいました。

Q: 重さはどのくらいですか？

想像以上に軽かったです。トーチを持って走るのに、負担にはならないと思います。

Q: どのようなデザインなのですか？

上から見ると桜の花びらの形をしていました。オリンピックとパラリンピックで色が違っていました。どちらもきれいに輝いていました。



教えてオリパラちゃん

【聖火・トーチ編】

●聖火リレーはいつから始まるの？

聖火は2020年3月20日、宮城県航空自衛隊松島基地

に到着後、5日間、宮城県、岩手県、福島県を回って「復興の火」が展示されるんだって。そして26日から、いよいよ日本国内を聖火がリレーされるそうだよ。

ちなみに…、台東区には7月21日の午前中に通るよ！！

●聖火の火って消えないの？

燃料にガスを使っているから、強風や大雨にも消えないんだって。でも、消えてしまうこともなくはないみたいだから、常に火種と一緒に伴走するみたい。

ちなみに…、かつてのオリンピックで、聖火は海中(シドニー大会)や宇宙(ソチ大会)でもリレーが行われたんですって。平昌大会では、AIロボットが聖火をつないだそうだよ。東京ではどんな聖火リレーが見られるか楽しみだね♪



オリパラちゃん